

8

骨粗しょう症検診

1 概要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で同一年齢平均骨量を測定した。

2] 対象

中学校の生徒

3] 判定基準

	異常認めず	要指導	要精検
同一年齢平均骨量	90%以上	80%～89%	80%未満

2 実施状況

表1 判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)	
1年生	男	30	26 (86.7)	4 (13.3)	0 (0.0)
	女	21	19 (90.5)	2 (9.5)	0 (0.0)
	計	51	45 (88.2)	6 (11.8)	0 (0.0)

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	83	82	67	64	51
要精検率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0